

こむ1会 定期総会

(2021年度・第10回)

日時：2021年8月28日(土曜) 13時30分～15時30分

会場：ZOOM(オンライン) ~~・ぷらざこむ1 3階フリースペース~~

※緊急事態宣言発令のため

進行次第

1. 開会

2. 議長選出

3. 総会

(1) 総会の開会宣言

(2) 総会の進行説明 (議案説明・質疑応答・決議までの流れについて)

(3) 議案説明・質疑応答

第1号議案 2020年度事業報告

- 資料① 事業報告(2020年度)
- 資料①-2 会則ワーキングの活動報告(2020年度)
- 資料①-3 交流&大掃除ワーキングの活動報告(2020年度)
- 資料①-4 広報ワーキングの活動報告(2020年度)
- 資料①-5 防災減災ワーキングの活動報告(2020年度)

第2号議案 2020年度会計報告・2020年度会計監査報告

- 資料② 会計報告(2020年度)
- 資料②-2 会計監査報告(2020年度)

第3号議案 会則の一部改定

- 資料③ こむ1会会則の一部改定(案)
- 資料③-2 こむ1会会則(令和3年8月28日改定版)(案)

第4号議案 2021年度運営委員の選任

- 資料④ 2021年度こむ1会運営委員候補者一覧
- 資料④-2 こむ1会会員名簿(2021年7月31日現在)

第5号議案 2021年度事業計画

- 資料⑤ 事業計画(案)(2021年度)
- 資料⑤-2 会則ワーキングの活動計画(2021年度)
- 資料⑤-3 交流&大掃除ワーキングの活動計画(2021年度)
- 資料⑤-4 広報ワーキングの活動計画(2021年度)
- 資料⑤-5 防災減災ワーキングの活動計画(2021年度)

第6号議案 2021年度会計予算

- 資料⑥ 会計予算(案)(2021年度)

(4) 総会の一部終了宣言 (対面総会の終了宣言・書面総会(決議)への移行宣言)

4. 議長解任

5. その他

6. 閉会挨拶

こむ1会 事業報告 （2020年度）

1. 定期総会の開催

書面決議で実施。臨時総会までの暫定予算案などの審議。運営委員の改選は実施せず。

2. 臨時総会の開催

書面決議で実施。2020年度の運営委員などの審議。

3. 運営委員会の開催

毎月1回、各10日の13:30～15:30に実施。コロナ禍によりZOOM併用にて実施。運営委員を班分けして業務分担（会議進行や会議録作成など）。

4. 連絡会議の開催

毎月1回、各月の中旬以降に実施。運営委員会の実施のための情報連絡会議（連絡報告事項や議案の提案）、ボランティアセンターや財団および報告者や提案者などで構成。

5. 一斉配信による情報共有

こむ1会の会員向けに、運営委員会のレジメや会議録などの配信（各グループの連絡担当者へメール送信など）を実施。

6. ホームページの更新管理

ウェブサイトをリニューアル。URLは<https://comonenet.com>に変更。

7. 「ふらっとぷらざ」利用団体との調整

新規希望者が1件、調整したが条件にあわず出展見送り。

8. 倉庫ロッカーの運用

前年度同様に「倉庫ロッカー利用者会」において運用。

9. 施設や設備に関する改善要望のとりまとめ

運営委員会に設備故障（炊飯器）などの意見が寄せられた。

10. こむ1会の運営のあり方や仕組みの見直しについての検討

以下の（12）ワーキングを立ち上げて実施。

11.こむ1会の趣旨や目的に必要な事業

(1) 他の会議への参加（こむ1会に参加依頼があり応えたもの）

- ◇ 宝塚福祉コミュニティ連絡会
- ◇ 受付ボランティア会議
- ◇ 宝塚市社会福祉協議会 評議員会
- ◇ 大型児童センター運営委員会
- ◇ 赤い羽根共同募金委員会
- ◇ 宝塚市セーフティネット会議

12.ワーキングの実施

会則改定、広報、防災減災、交流、大掃除、施設改善のワーキングを立ち上げた。

ワーキングの活動報告は、別添資料を参照。

施設改善のワーキングについては、運営委員会内で実施した。

以上

会則改定ワーキング

（2020年度 活動報告）

◆ 活動の経過

- ・ 2/10:運営委員会にてワーキングチームの立ち上げが決定（メンバー公募）
- ・ 3/10:運営委員会にて WT メンバーの承認（9名で発足）
- ・ 3/24:第1回会合 WTの進め方の共有（下記）。WT参加の思いを各自発表
- ・ 4/1 :第2条「目的」、第3条「活動」について、財団としてのこむ1会に対する思いのヒアリングを実施。文言の修正案の検討。
- ・ 4/17:カード形式で課題（主に第5条以下の問題点）を書き出して、発表 & 討議
- ・ 4/19: 上記作業の続き
- ・ 4/28～:休館により一時中断
- ・ 5/29:第5条以下の改定案の検討作業
総会に全条文一括提案は断念（第1条～4条のみ総会に諮ることに決定）
- ・ 6/16:第1条～第4条の改定案の確定（パブリックコメント募集）
- ・ 7/5 :パブリックコメントに対する修正提案の協議、修正
- ・ 7/10:運営委員会で、第1条～第4条の改定案の説明、承認
- ・ 8/10:定期総会議案として上程

◆ 改定作業の進め方

- ・ 改定案検討にあたっての基本的な考え方
 - 1) 現会則の基本的な考え方は変えない
 - 2) 出来れば現在の会則の形式・書式（A4用紙2ページ）を維持する
- ・ 見直し対象箇所
 - 1) こむ1会の運営上、守られていない（守られにくい）箇所
 - 2) 表現が曖昧で、人によってとらえかたに差がある箇所
 - 3) その他、修正すべき（した方がいい）と思われる箇所

以上

会則改定ワーキング

（2021年度 活動計画）

◆ 今後の予定

- ・ 第5条以下の改定案の作成作業を引き続き進める。
- ・ 概ね年内完了を目標とする
- ・ 第5条以下の改定案作成にあたり、その改正には総会の承認が必要な本文と、運営委員会の承認で変更が可能な細則（運営上の事務的な事項）とに分ける方向で作業を進める方針。

以上

交流&大掃除ワーキング

（2020年度 活動報告）

2020年度はコロナ禍のため人が集まることが難しいという状況の中で、本来は人が集まることによって成立する交流と大掃除について、どのような形ならば実施が可能かを含め一緒に協議を進めました。

交流 部門

- ① コロナ禍の中どのような形・方法で交流事業が叶うか検討した。
- ② ワーキング内でコロナ禍での活動について検討、何が必要か・何が出来るか話しあった。訪問ボランティアの訪問先をアンケートする事によって現状、問題点、改善点が見えてくるのではないかと考えアンケートの実施を決定。7月10日の運営委員会で報告の上アンケート協力を全登録グループへ依頼。
「アンケート&座談会実行チーム」結成、今後はこのチームで内容を進めて行く。
（集計資料を掲載。）
座談会を（9月18日もしくは25日頃）実施予定
- ③ コロナ禍の中今までと同じ形でのこむ1会フェスティバルの開催は出来ないが、それに代わる何か「みにフェス」を実現する為に交流ワーキングは次年度に継続し安全な実施に向けて考察を続ける

大掃除 部門

- ① コロナ禍において、大掃除大会は開催出来なかった。
- ② 2021年度に開催する方法について、検討した。
- ③ 実行委員会を立ち上げた。

交流&大掃除ワーキング

（2021年度 活動計画）

- ① 「大掃除実行委員会」として分散による大掃除大会を実行する
具体的な時期と方法については、新年度に検討する。

- ② 「アンケート&座談会実行チーム」として企画実行する

- ③ 「交流ワーキング」として交流事業を検討する。
順次実行チームを立ち上げ交流事業を行う。

広報ワーキング

（2020年度 活動報告）

1. 広報活動の考え方について検討

- ・ ウェブサイト、掲示板、掲示物など、こむ1会としての広報制作物が多様にあるので、「広報の目的と内容や手法」を検討することから行った。
- ・ 活動方針として、広報活動には多くの人手が必要になってくると思うので、だれもが協力しあえるように、「わかりやすい仕組みづくり」が必要である。
- ・ こむ1会内の情報やノウハウの共有を促進する（記録化、文書化、アーカイブ化）。

2. ウェブサイトのリニューアルについて検討および制作

- ・ ぷらざこむ1のポータルサイト「コムワンネット」を、ドメイン取得およびサーバー契約して、7月から立ち上げた（<https://comonenet.com>）。今後は「ウェブサイト制作実行チーム」が企画および制作作業を引き継ぐ。
- ・ 誰もが更新作業できる仕組みを備えたシステムを導入し、リニューアル制作したのは、これまでのウェブサイトは更新作業に技術や手間が必要で、内容が更新されていない部分があるなど情報が探しにくい状態だった。

3. 案内動画制作について検討および制作

- ・ コロナ禍で「ぷらざこむ1の施設見学」の要請が来ても応えられない可能性があるため、一般市民の方向けの館内見学や施設説明をする動画制作（館内放映・ウェブサイト掲載など）を検討した（動画制作実行チームの立ち上げ検討中）。
- ・ 施設の特徴「利用者がボランティアで運営する施設」であること、飲食可能な場所、利用の際の注意事項など（字幕・音声解説など）を説明する動画を製作予定。

4. デジタル版マガジンについて検討および制作

- ・ こむ1会の会員同士の交流や運営委員会の議論や動向の情報共有のため、デジタル広報誌を制作し、メール配信およびウェブサイト掲載を検討した。「試作号」を制作し、今後は「デジマガ制作実行チーム」がデジマガの発行を行っていく。
- ・ 広報の配信システム整備（メール配信システム）を検討、会員の一人ひとりに届く仕組みを整える。

5. 「ウェブサイト制作実行チーム」の立ち上げ

6. 「デジマガ制作実行チーム」の立ち上げ

広報ワーキング

(2021 年度 活動計画)

1. 広報活動についての継続検討

- ・ 館内見学の方法
- ・ 掲示板や館内の掲示物（館内表示）
- ・ 手話言語、音訳、映像（イラスト）を用いた広報の検討

2. 「ウェブサイト制作実行チーム」の継続

3. 「デジマガ制作実行チーム」の継続

4. 積極的な広報を行うことを検討

① 目的目標および現状

- ・ 宝塚市民なら「ぷらごこむ1」と「こむ1会」のことがわかるようにしたい。
- ・ 存在自体「どこ？」って言われ、フレミラとの違いが理解されていない現状を変えたい。「ボランティア団体が使う施設」の理解から（自分とは関係ない事として）関心が発展していかない状態。
- ・ こむ1会のことを知ってもらって、利用者（ボランティア）を増やす

② 内容（積極的な広報とは）

- ・ 館内見学の依頼などの紹介できる機会があれば広報を行う（待ちの姿勢）から、広報する機会を積極的に自ら探し、作り出して、行っていく（攻めの広報）。
- ・ こむ1会内（会員向け）の広報活動だけでなく、対外的（市民向け）な広報を検討する。例：子どもや市民対象に「館内見学」を自主的に企画して実施、子ども向けの館内見学のリーフレット作成配布など。
- ・ こむ1会への参画のメリットを広報する（現状はデメリットの方が目につきやすいので、良い点を見つめ直し、作り出して、積極的にアピールする）。例：「利用者が自分たちのチカラでつくれる施設」
- ・ 広報の「伝え方・言葉の使い方」は重要で、正しく伝える。例：「無料の施設」は誤解を生みやすく「施設の利用料は、社会的課題に取り組むボランティア活動の行動実績」と相応しい言葉を選ぶ。

5. 予算が必要になる（必要な経費が使える仕組みを検討）

- ・ 大人向き、子ども向きの資料作成（リーフレット作成代）、小学生への出前講座（説明資料作成）などの広報活動のための必要経費が不明確で計画しにくい現状がある。

6. ワーキングに多くの人が参画してもらおう仕組みを検討

（運営委員以外からも参加が欲しい）

- ・ 広報活動を細分化する（さまざまな実行チーム）ことで、作業内容が単純化、わかりやすく、部分的な参加がしやすくなるので、多くの人に興味ある作業や手伝える内容で参画が増える仕組みが必要。ワーキング間の連携も検討（広報の検討内容は、他のワーキングに横断や重複する内容）。

防災減災ワーキング

（2020年度 活動報告）

【防災減災ワーキング立ち上げ】

日時:6月30日(水) 10:00～12:00 場所:1階フリースペース

内容:(公財)プラザコム・ワン岡本さん参加で開催

- ・今年度コロナ禍で実施された消防避難訓練について岡本さんから説明。
- ・コロナ禍で実施した消防避難訓練の工夫についての話し合い。
- ・今後消防避難訓練は(公財)プラザコム・ワン岡本さんと協力して行うと確認。

【防災減災ワーキング全体会議】

日時:7月8日(木) 10:00～12:00 場所:27A・B会議室

内容:(公財)プラザコム・ワン 岡本さん参加で開催。

1. コロナ禍で実施された消防避難訓練について岡本さんから説明。
 2. 秋季消防避難訓練(例年11月)の実施について話し合った。
 3. 此れ迄実施された消防避難訓練の説明をして、新年度に向けての話し合い意見交換をした。
- ・館内の消火栓など防火機器の場所の確認、避難滑り台の体験をして避難経路を知ってもらう活動をする。
 - ・新年度「防災減災ワーキング」から「防災委員会」として活動したいと合意。

防災減災ワーキング

(2021 年度 活動計画)

- ・ 防災減災ワーキングから防災委員会として活動を希望。
- ・ 春季、秋季消防避難訓練は(公財)プラザコム・ワン岡本さんと連携して行う。
- ・ 施設内の防火機器の設置場所、防火設備を知ってもらい防火知識を広める活動。
- ・ 避難滑り台、避難階段などの体験を通し避難経路を周知する活動。
- ・ 施設改善ワーキングと連携して避難経路の改善活動。
- ・ 福祉コミュニティプラザ内の安心、安全の防災活動。
- ・ 「心肺蘇生・AED講習会」いざ!!という時に助け合える活動。
- ・ 登録グループとつながり連携して活動する方法を模索する。

こむ1会 会計報告

2020年度 (2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位:円)

収 入			
科目	予算	決算	備考 (主な収益抜粋)
前年度繰越金	233,749	233,749	※2019年度会計より繰越 233,749
年会費	50,000	51,900	50円×会員 1038名分 51,900
活動収入	70,000	0	
雑収入	800	4,659	レトルトカレー売却 3,734 コピー機使用料 925
計	354,549	290,308	

(単位:円)

支 出			
科目	予算	決算	備考 (主な用途抜粋)
印刷費	14,000	5,000	コピーカード代 5,000
通信費	2,000	1,758	総会資料 1,758
事業費	98,000	0	
使用料	13,000	26,313	ZOOMライセンス(2021年度分) 20,000 ウェブサーバー・ドメイン料 3,813 ロッカー(2)・倉庫(1) 2,500
備品費	10,000	15,660	ボイスレコーダー 7,155 ZOOM関連の機材等 8,505
消耗品費	30,000	15,704	インク代 12,101 コピー用紙ほか 3,603
予備費	187,549	0	
計	354,549	64,435	

収入	※上記参照	支出	=	次年度繰越金
290,308	—	64,435	=	225,873

上記のとおり報告します。

2021年8月6日

会計

高原 宏子 

会計

中下 大地 

こむ1会 会計監査報告

2020年度(2020年8月1日~2021年7月31日)

2020年度(2020年8月1日~2021年7月31日)のこむ1会における会計報告および諸帳票を会計監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2021年8月6日

会計監査 松崎洋祐 

会計監査 横山正人 

資料③ こむ1会会則の一部改定(案)

第1条～第4条(現行)

【名称】

第1条 本会を「こむ1(ワン)会」と称する
(以下、本会と称する)。

【目的】

第2条 本会はぶらざこむ1の
コミュニティづくりに参画し、
ボランティア活動を通じて、
誰もが住みやすい街や社会づくりに
寄与することを目的とする。

【活動】

第3条 本会は第2条の目的を達成するため
次の活動を行う。

- ① コミュニティづくりを促進するための
様々な活動
- ② ぶらざこむ1の自主運営に関する活動

【事務局】

第4条 本会の事務局はぶらざこむ1内におく。

見直し理由

・変更なし

・「コミュニティづくり」の意味が理解されにくい
・「こむ1会としてボランティア活動をする」と
誤解されやすい
・現行条文の中に「(公財)プラザ・コム」が明記
されておらず、こむ1会と財団との関係の
明文化が必要。

・変更なし

・「コミュニティづくり」の意味が理解されにくい
・「様々な」は冗長なので省略した。
・「自主運営」は実態と乖離しているので、
現状に則した表現に変更した。

・変更なし

第1条～第4条(見直し案)

【名称】

第1条 本会を「こむ1(ワン)会」と称する
(以下、本会と称する)。

【目的】

第2条 本会は、**(公財)プラザ・コムが掲げる**
「ぶらざこむ1の願いと目的」[※]に賛同し、
誰もが住みやすい街や社会づくりに寄与
することを目的とする。

※ ぶらざこむ1の願いと目的
「すべての人にとって暮らしやすい街や社会を、
ボランティアの力によってつくること。」

【活動】

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため
次の活動を行う。

- ① **ぶらざこむ1を核とした、つながりづくり**を
促進するための活動
- ② **ぶらざこむ1の運営に関する主体的な活動**

【事務局】

第4条 本会の事務局はぶらざこむ1内におく。

こむ1会 会則

【名称】

第1条 本会を「こむ1(ワン)会」と称する(以下、本会と称する)。

【目的】

第2条 本会は(公財)プラザ・コムが掲げる「ぷらざこむ1の願いと目的」※に賛同し、誰もが住みやすい街や社会づくりに寄与することを目的とする。

※ ぷらざこむ1の願いと目的

「すべての人にとって暮らしやすい街や社会を、ボランティアの力によってつくること。」

【活動】

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の活動を行う。

- ① ぷらざこむ1を核とした、つながりづくりを促進するための活動
- ② ぷらざこむ1の運営に関する主体的な活動

【事務局】

第4条 本会の事務局はぷらざこむ1内におく。

【会 員】

第5条 本会の会員は次の者とする。

- ① ぷらざこむ1を拠点にボランティア活動を実施しているぷらざこむ1登録グループ
- ② 第2条に賛同する個人またはグループ

【オブザーバー】

第6条 宝塚市社会福祉協議会ボランティア活動センターは、議決権のないオブザーバーとして本会に参画する。

【会員の役割】

第7条 会員の役割は次の通りとする。

- ① ぷらざこむ1のコミュニティづくりに参画する
- ② ボランティア活動を通じて、誰もが住みやすい社会づくりに寄与する
- ③ ぷらざこむ1の自主運営を担う

【運営委員】

第8条 本会の円滑な運営を計るため運営委員(以下、委員と称する)を選任し、運営に当たる。

【委員の選任と任期】

第9条 委員の選任は次の方法により行う。

選任する委員の定数は25名とする。その内訳はぷらざこむ1登録グループから個人の資格で出た者15名程度、ボランティア活動に理解のある個人10名程度とする。

- 2 任期は2年とする。
- 3 欠員が生じた場合は必要に応じて後任者を選任することが出来る。その任期は前任者の残任期間とする。

【役員】

第10条 本会の運営を取りまとめるために次の役員をおく。

代 表 1名 本会の運営を統括する

副 代 表 2名 代表を補佐する

代表に事故があるときは、副代表の合議により代表代行を決める

会 計	1名	本会の会計にあたる
会計監査	2名	本会の会計監査にあたる
総 務	2名	本会の庶務全般にあたる

【役員を選定】

- 第11条 役員を選定は第9条1項の委員の中から選定され、総会で承認を受ける。
2 代表は、必要に応じて、運営委員より役員を増員することができる。

【役員の任期】

- 第12条 役員任期は2年とする。
2 補欠により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
3 増員により選任された役員任期は、直近の定時総会までとする。
4 役員は辞任または任期満了後においても、後任者が就任するまではその職務を行う。

【運営委員会】

- 第13条 運営委員会は役員および委員によって構成する。
2 運営委員会は第2条の目的および第3条の活動を促進するため、代表の招集により月1回以上開催し、本会に諮るべき課題の整理・審議・決定や活動の企画立案および実務にあたる。議長は代表が務める。
3 運営委員会は必要に応じて小委員会をつくることができる。
4 運営委員会の議決は出席委員の3分の2以上の賛同をもって成立する。
5 運営委員会は原則公開で行う。

【総会】

- 第14条 総会は次の事項について決議する。また総会の進行のため議長を選出する。
① 会則の承認および変更
② 役員を選任および解任
③ 活動報告および会計報告
④ 活動計画および予算計画
2 定期総会を毎年度1回、開催する。また、必要に応じて臨時総会を開催する。
3 総会は運営委員会の決議に基づき本会の代表によって招集する。
4 総会は本会の会員の過半数の出席をもって成立する。ただし、委任した会員は出席とみなす。
5 本会の議案は出席者の多数の賛同をもって成立したものとす。

【会計】

- 第15条 本会の会計は次の通りとする。
① 会の運営のため会費を徴収する。寄付等を受けた時は収入に充てる。
② 会計年度は毎年8月1日から翌年7月31日までとする。
③ 新年度にもかかわらず予算が成立していない時は予算の成立まで、運営委員会の議決を経て、前年度予算に準じて支弁することができる。
2 年会費は1人あたり50円とする。年会費は活動者人数×50円として一括納入とする。

【附則】

- 1 本会則は平成24年8月25日から発効する。
2 平成25年8月24日に会則改定
3 平成26年8月23日に会則改定
4 令和3年8月28日 第2条及び第3条の一部改定を行った。

2021年度 こむ1会運営委員候補者一覧

2021/8/28

No.	名前	所属G	グループ番号	残任期
1	大西 やすえ	手話サークル「さわやか」	8	1
2	荻野 昌代	ボランティアグループゆめふうせん	35	1
3	高原 宏子	宝塚情報ボランティアネットワーク	51	1
4	岡田 八郎	宝塚専心会	131	1
5	小島 マサ子	宝塚市第6地区民生児童委員協議会	153	1
6	前田 聖子	一致バラばらの会	187	1
7	真下 英彦	つながりづくりネットワーク宝塚	349	1
8	角田 宜子	絵芝居研究会	353	1
9	佐々木 礼子	武庫川づくりと流域連携を進める会	380	1
10	山本 義和	武庫川流域圏ネットワーク	381	1
11	門内 てる	うらら宝塚	391	1
12	中下 大地	卓上遊戯会ーエリアナウスー	395	1
13	榎本 匡笑	個人	-	1
14	中小路 絵美	個人	-	1
15	三島 ミナ子	個人	-	1
16	村中 有巳子	個人	-	1
17	東 賢司	個人	-	2
18	関戸 光子	宝塚市第3地区民生児童委員協議会	401	2
19	喜多河 恭子	宝塚ふぁみりい劇場	133	2
20	村井 照幸	売布小学校区まちづくり協議会	136	2
21	小林 拓也	宝塚シニアマジッククラブ	233	2
22	野村 まゆみ	心の相談 エル・ライン	261	2
23	田中 眞佐子	宝塚友の会	294	2
24	三宅 貴子	オカリナグループ”こまどり”	321	2
25	油井 武	宝塚広域ボランティア連絡委員会	334	2

2021年度 こむ1会 会員名簿

グループ番号	グループ名
2	テーブルライブラリー宝塚
4	宝塚点字友の会
8	宝塚市手話サークル「さわやか」
9	手話サークルす・く・ら・む
16	会食ボランティア 喜久の会
33	紙芝居サークル ちょうちよ
35	ボランティアグループ ゆめふうせん
36	日曜大工ボランティア でえくさんず
37	宝塚おもちゃの診療所
47	ありのままグループ
51	宝塚情報ボランティアネットワーク
67	櫻守の会
97	おあや座
101	宝塚心臓障害者の会
105	宝塚ろうあ協会
106	宝塚中途難聴者の会
109	宝塚市手話サークル連絡会
117	宝塚エコネット
118	信天翁
126	武庫ネイチャークラブ
131	宝塚専心会
133	宝塚ふぁみりい劇場
136	売布小学校区まちづくり協議会
140	宝塚家族会
150	宝塚の平和と人権を考える会
153	宝塚市第6地区民生児童委員協議会
173	宝塚「脳卒中」友の会
181	宝塚ココロンクラブ

2021年7月31日現在

グループ番号	グループ名
184	ポップンリンガーズ
185	ビリーブ
187	一致バラばらの会
210	朗読ボランティア カモミール
221	星の荘住宅パトロール隊
233	宝塚シニアマジッククラブ
234	宝塚市自然保護協会
242	はっぴーばーばら
251	宝塚三線サークル ていんがーら
252	こむ・コム塾
261	心の相談 エル・ライン
267	まねき猫倶楽部
268	宝塚視力障害者協会
285	若年認知症支援連絡会 ひよこの会
294	宝塚友の会
314	宝塚・防災リーダーの会
320	北摂・丹波地区里親会
321	オカリナグループ”こまどり”
326	ランチボックス
334	宝塚広域ボランティア連絡委員会
349	つながりづくりネットワーク宝塚
353	絵芝居研究会
362	歌楽多笑一座
374	宝塚がんサポートすみれの会
380	武庫川づくりと流域連携を進める会
381	武庫川流域圏ネットワーク
391	うらら宝塚
395	卓上遊戯会ーエアナウサー
401	宝塚市第3地区民生児童委員協議会

グループ会員：57

個人会員：6 ※個人会員の名前は明記しておりません

こむ1会 事業計画 (案)

(2021年度)

1. 各ワーキングの活動計画

別添資料を参照(会則改定、防災減災、広報、交流、大掃除のワーキングから提案資料あり)。

2. 定期総会の開催

3. 運営委員会の開催

4. 連絡会議の開催

5. 一斉配信による情報共有

6. 「ふらっとぷらざ」利用団体との調整

7. 倉庫ロッカーの運用

8. 施設や設備に関する改善要望のとりまとめ

9. こむ1会の運営のあり方や仕組みの見直しについての検討

10. こむ1会の趣旨や目的に必要な事業

以上

こむ1会 会計予算 (案)

2021年度 (2021年8月1日～2022年7月31日)

(単位:円)

収 入			
科目	前年度の決算	予算	備考 (主な収益抜粋)
前年度繰越金	233,749	225,873	※2020年度会計より繰越 225,873
年会費	51,900	50,000	50円×会員1,000名分 50,000
雑収入	4,659	127	コピー機使用料 120
計	290,308	276,000	

(単位:円)

支 出			
科目	前年度の決算	予算	備考 (主な使途抜粋)
事業費	0	100,000	
使用料	26,313	15,000	ロッカー(2)・倉庫(1) 2,500 ウェブサーバー・ドメイン料 5,000
備品費	15,660	40,000	プリンター(買い替え) 30,000
消耗品費	15,704 ※(+5,000 +1,758)	40,000	事務用品 16,000 コピーカード代(印刷費) 12,000 郵送代(通信費) 2,000
予備費	0	81,000	※運営委員会の承認により支出できる
計	64,435	276,000	

※前年度と科目の仕分けが一部変更になっています(以下、説明参照)

※2020年度予算との変更点

1) 「収入:活動収入」の科目削除

※コロナの影響を想定できないため

2) コピーカード代の「支出:印刷費」を「支出:消耗品費」に含める

※事務関係での費用を明確にするため

3) 「支出:通信費」を「支出:消耗品費」に含める

※総会資料の郵送代(毎年2,000円程度)と少額のため、事務関係の費用に合算する

4) 「支出:印刷費」を「支出:消耗品費」に含める

※総会資料の印刷費(毎年1,000円程度)と少額のため、事務関係の費用に合算する

5) 「支出:予備費」から必要に応じて支出できる

※運営委員会の承認(購入提案書などの提案および承認)により、事業費などへ支出できる